

Sound Devices 8-Series の Warning メッセージについて

Warning Approaching maximum number of Takes



最大のテイクナンバー
に近づいています。
再起動してください。

Scorpio、888、833 などの 8-Series レコーダーは、特定の利用環境にて上記の警告を発することがあります。

【 一次的な対処 】

エンコーダー（右）を押してメッセージ画面を消してから、電源スイッチの Off > On で再起動してください。

【 根本的な対処 】

内臓 SSD、SD カード 1、SD カード 2 をすべてフォーマットすることで、この Warning は出なくなります。

【 警告の原因と理由 】

テイクリストの管理情報が肥大化（※）することで、動作メモリを圧迫されて警告メッセージが表示されます。
（メディアの空き容量 や 録音された WAV ファイルのデータサイズ は直接の原因ではありません。）

このメッセージを「一時的な対処」により無視して、テイク数を増やし続けると、8-Series の安定動作に影響をあたえるため、なるべく早く「根本的な対処」を行ってください。（最悪、フリーズして操作できなくなります。）

※管理情報の肥大化

8-Series のシステムは、以下の情報をテイクリストで管理しています。情報の肥大化を抑えるには、これら設定をなるべく少なくすることが効果的です。

- ・トラック数 (Track Arm)
- ・トラック・ネーム (Track Name) の文字数
- ・シーン・ネーム (Scene Name) の文字数
- ・バス・ネーム (L, R, B1, B2) の文字数
- ・録音フォルダの階層数

【 警告が出るテイク数 】

この Warning が表示される具体的なテイク数とその条件は、一概に言えません。
Factory Default 設定において 1,000 テイク前後が Warning の出る目安です。

【 定期的なフォーマットをおすすめします。 】

一般的に、SSD や SD カードはデータの長期間保存に向いていません。レコーダーの安定動作のためにも、こまめなデータのバックアップとフォーマットの実施をお勧めします。

以上